

## 『職業奉仕』

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。はじめに、1月1日に発生いたしました能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げたいと思います。

今年も甲子園ロータリークラブをよろしく願いいたします。昨年度はIMをはじめ様々な事業を会員の皆様の協力で行うことができました。今年度も親睦活動、奉仕事業を各チームリーダーと相談して計画していきたいと思っております。

さて1月は職業奉仕月間です。職業奉仕とは、私たちが普段の仕事の中で、社会に貢献することです。私たちは、それぞれに自分の仕事があります。その仕事を通じて、社会に良い影響を与えることができます。この「花」や「果実」に当たるのが、社会奉仕や国際奉仕、青少年奉仕、ロータリー財団などです。職業奉仕はこれらを支える「太い幹」なのです。またクラブ奉仕は樹の「根っこ」に当たります。幹が太くならなければ、枝は茂りませんし、花も咲かず、実も結びません。幹を太くすることが一番肝要なのです。職業奉仕はこの幹を太くすることなのです。会社ではリピータを獲得する顧客満足サービスを行うことで、会社が繁栄するのですから、正しい職業奉仕はこの樹の幹を太くしてくれます。幹を太くする職業奉仕に比べ、他の奉仕は出来た果実を分け与える事と解釈できます。つまり、沢山実った果実を奉仕活動として提供するという事です。

ここで、社会奉仕と職業奉仕の違いはなんでしょう？「職業奉仕はすればするほど幹が太ること」と言いました。つまり奉仕の最終の受け手は自分(会社)なのです。一方の社会奉仕は、奉仕の受け手は相手で、自分は見返りをもらわないのです。奉仕の受け手の違いが社会奉仕と職業奉仕の違いだと考えられます。ロータリーが求めている職業奉仕に必要な、職業倫理とは「働く人それぞれが倫理を持とう」ということなのです。「人として倫理を持って職業を営もう」ということです。その道標が4つのテストです。

「四つのテスト」

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか  
この4つの頭文字をとって「しみこみ」と覚えましょう。

会社に当てはめると

1. 取引に虚偽はないか？
2. 全ての取引先に公正か？
3. 信用を高め、取引先を増やすか？
4. 全ての取引先に利益をもたらすか？

ということになるのでしょうか

私の職業(医療)に当てはめると

1. 偽りなく誤魔化さずに真摯に診療しているか？
2. 全ての患者に公正か？
3. 信用を高め、患者を増やすか？
4. 全ての患者の病気(症状)を楽にできてるか？

ということになるのでしょうか

それでは、具体的な職業奉仕の例を紹介したいと思います。

「仕事を通じて、より良い商品やサービスを提供すること」

私たちは、仕事を通じて、より良い商品やサービスを提供することで、社会に貢献することができます。

例えば、環境に配慮した商品やサービスを開発すること。

高齢者や障害者でも使いやすい商品やサービスを開発すること。

地域の文化や歴史を活かした商品やサービスを開発すること。

などが挙げられます。自分の職業で職業奉仕について考えてみてください。



※絵は、職業奉仕の樹(渡辺好政 作成)